



五味平一議員

釜無川水力発電 所建設を許可す るのか

実現したいが権利
者が反対であれば
出来ない

質問：釜無川水力発電所建設計画は平成5年に、山梨県企業局より計画概要説明を受け、水量低下や自然環境への影響が大きいと反対があり、平成13年に発電所建設計画が凍結された経緯がある。山梨県による釜無川水力発電所建設計画が再燃されているようであるが、その事実はあるか、その事実は。

町長：最近の自然エネルギー増大、国の要請等があり有力な電力源として再度見直している。去年の春、山梨県の企業局

より5メガワットレベルの発電所建設計画の申し入れがあった。

質問：前回計画が実行できなかったことを踏まえた町長の考えは。また、水利権者への対応は。

町長：自然エネルギーは日本で重要になってきている。山梨県からの強い要求もあり、何とか協力し実現したい。漁業権、水利権など、水が減ることについて、何らかの補償を具体的に求めた。

質問：自然エネルギーは脚光を浴びているが、一方多くの問題も抱えている。取水にダムを造るのか。

町長：ダムを造らず取水口から、パイプによりトンネルを掘って発電を行う。

質問：取水口から下流の流量が少なくなり、河川としての機能や生態系が破壊されるが対策は。

町長：水田は過去のデータから水不足になら

ないと思われるが、発電量を減らしても、水を確保する契約にする。漁協については、魚が取りにくい時期が発生するが我慢をしてもらう。詳細を山梨県に調査・回答を求め、それをもとに漁協に諮る。

質問：下水処理水を放流しているが、河川の環境対策は。

町長：今まで議論になっていた。今後調査する。

質問：防災対策として河川敷内の立木の処理等は。

町長：処理については県に要求していく。

質問：権利を持つている団体等が建設反対した場合建設を断念するか。

町長：一番の問題は漁協である。漁協がNOと言えば進めるわけにいかない。

□その他の質問

*南アルプスユネスコパーク登録の今後について

*有害鳥獣対策について



宮下伸悟議員

「二地域居住」の 誘致促進を

特別な取り組み
を行うかどうか
検討する

質問：定住促進策における選択肢の一つとしての「二地域居住」誘致の可能性は。「二地域居住」の適地としても、首都圏にPRしてはどうか。

町長：富士見町の物件を見に来る人の中に「二地域居住」を目指している方もおられると思うが、どのくらいかは分からない。かなり富裕層に方に限られると思うので、何か特別な取り組みを行うかどうかは検討させてほしい。

質問：県との連携における課題と対応は。

町長：県とは密接に連

携しており、これまで新規就農やテレワークといった移住促進においても、富士見町の様々な情報発信など、全面的にご支援いただいている。

■教育の町づくりについて

質問：子どもや保護者にとつての進路選択をより良いものとするために、富士見町教育は何に重点を置くべきと考えるか。

教育長：子どもたちに夢や希望を持たせ、それを叶えられるよう、各自の進路選択を幅広く保障できる教育、知育・徳育・体育のバランスの取れた教育であり、学力偏重になつてはならない。

質問：町内からの清陵中への入学者数について、「これでは教育の町とは言えない」と発言したというのは事実か。事実であれば、その意図は何か。

町長：事実だが、受験した多くのお子さんたち

が多感な時期に挫折感を味わったことを心配し、それぞれの学力を踏まえた適切な指導が行われていたのかを問うたのであつて、学力偏重を意図するものではない。

■富士見町ふるさとみらい寄付金について

質問：将来的な見通しは。より手軽で便利な納付方法も検討してはどうか。

町長：大口の寄付を除くと、100万円未満の寄付は総額200万円ほど。大口以外の寄付者を広げていく必要がある、手軽に手続きができるよう、ネットでのクレジット決済も検討する。

質問：富士見町を訪れる観光客の皆さんをいかに「ふるさと納税」に引張ってくるか、という考えは持っているか。

町長：気が付いていないかったが、良いアイディアだと思う。何らかのPRを行いたい。